



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社

上場取引所 東 大

コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大枝 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長 総務本部広報部長 (氏名) 稲垣 泉

TEL 03-5282-6650

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	342,121	3.8	17,143	△5.2	19,806	△4.6	12,002	10.1
24年3月期第3四半期	329,627	3.1	18,088	△12.0	20,757	△8.8	10,905	△13.9

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 10,171百万円 (1.6%) 24年3月期第3四半期 10,012百万円 (△4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	48.31	—
24年3月期第3四半期	43.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	419,544	303,641	70.5
24年3月期	431,956	298,798	67.5

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 295,958百万円 24年3月期 291,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	459,100	3.9	23,500	1.7	26,300	0.6	14,600	9.6	58.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 1 社 (社名) Champion Flour Milling Ltd.、除外 — 社 (社名)
(注)詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
(注)詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：有
④ 修正再表示：無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	251,535,448 株	24年3月期	251,535,448 株
25年3月期3Q	3,071,107 株	24年3月期	3,062,310 株
25年3月期3Q	248,471,055 株	24年3月期3Q	248,484,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

[当第3四半期連結累計期間の概況]

当社は昨年4月より長期的な成長を実現するため、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」をスタートし、各事業において積極的な取組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、東日本大震災の復興需要並びに政策効果等により緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、海外景気の減速を背景とした先行き不透明感や長引くデフレ環境により個人消費が低迷するなど依然として厳しい環境となりました。このような中、各事業においてトップライン（売上高）の拡大に向け、積極的な販売促進施策に取り組みました。また、昨年3月に買収した米国のMiller Milling Company, LLCおよび10月に設立した新会社日清製粉プレミックス㈱は順調に推移しております。12月には、ニュージーランド最大の製粉事業の取得を決定し、新会社Champion Flour Milling Ltd.を設立いたしました。更に、総合中食メーカーのトオカツフーズ㈱に出資するなど成長拡大に取り組みました。

一方、将来のコスト競争力強化策として、製粉工場の集約に取り組んでおり、昨年5月に九州において福岡新工場の建設に着工し、12月に中部において知多工場に新ラインを増設することを決定いたしました。

なお、輸入小麦の政府売渡価格が、昨年4月に5銘柄平均で15%引き下げられ、10月に同3%引き上げられたことを受け、製品価格改定を実施いたしました。

この結果、第3四半期連結累計期間の業績は、売上高はMiller Milling Company, LLCの連結効果や中食・惣菜、冷凍食品の伸長、医薬品原薬の新規出荷等により、3,421億21百万円

（前年同期比103.8%）となりました。利益面では、食品事業において拡販費用を増加したことなどから、営業利益は171億43百万円（前年同期比94.8%）、経常利益は198億6百万円（前年同期比95.4%）、四半期純利益は120億2百万円（前年同期比110.1%）となりました。

[セグメント別営業概況]

①製粉事業

製粉事業につきましては、国内の小麦粉消費が伸び悩む市場環境にありましたが、「価値営業」を推進し、お客様との関係強化に注力した結果、国内業務用小麦粉の出荷は前年並みとなりました。また、輸入小麦の政府売渡価格が昨年4月に5銘柄平均で15%引き下げられ、10月に同3%引き上げられたことを受け、それぞれ7月と12月に業務用小麦粉の価格改定を実施いたしました。

生産・物流面では、引き続き生産性向上及び固定費削減等のコスト削減の取組みを推進いたしました。また、将来のコスト競争力強化策として、製粉工場の集約に取り組んでおり、昨年5月に九州において福岡新工場の建設に着工し、12月に中部において知多工場に新ラインを増設することを決定いたしました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、昨年3月に買収したMiller Milling Company, LLCの連結効果とタイの日清STC製粉㈱の周辺諸国への輸出等の拡販施策により、出荷は前年を上回りました。また、12月にオーストラリア及びニュージーランドの大手食品企業であるGoodman Fielderのニュージーランドにおける製粉事業の取得を決定し、新会社Champion Flour Milling Ltd.を設立いたしました。

この結果、製粉事業の売上高は1,348億36百万円（前年同期比104.1%）、営業利益は70億17百万円（前年同期比117.2%）となりました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、生活者の個食化・簡便化のニーズに対応する家庭用新製品の投入、TVCMの放映や消費者キャンペーンを実施するなど積極的な販売促進施策を展開した結果、家庭用常温製品の出荷は前年を下回ったものの、冷凍食品の大幅な出荷伸長等により、売上は前年を上回りました。また、今後、大きな成長が期待されている業務用プレミックス事業において、昨年10月に新会社日清製粉プレミックス㈱を設立し、国内外においてスピード感をもって事業拡大を推進する体制に移行いたしました。

中食・惣菜事業につきましては、売上げ拡大に向けた取組みを推進し、売上げは前年を上回りました。なお、１２月に総合中食メーカーであるトオカツフーズ㈱に出資し、今後、同社との連携により一層の事業拡大を図ってまいります。海外事業につきましては、成長を続ける中国・東南アジア市場を中心に新規顧客の獲得に向けた積極的な商品提案に努めたことにより、売上げは前年を上回りました。

酵母・バイオ事業の酵母事業につきましては、イーストの出荷は前年並みとなりましたが、総菜等の伸長により、売上げは前年を上回りました。バイオ事業は診断薬原料等が好調に推移し、売上げは前年を上回りました。

健康食品事業につきましては、医薬品原薬「EPA-E」の新規出荷に加え、自社通販ルートの新設等により消費者向け製品の販売も好調に推移し、売上げは前年を上回りました。

この結果、食品事業の売上高は１，７７０億６３百万円（前年同期比１０２．９％）、営業利益は８２億７０百万円（前年同期比８３．５％）となりました。

③その他事業

ペットフード事業につきましては、市場ニーズに応じた新製品を発売するなど積極的な販売促進施策を実施しましたが、消費低迷や店頭価格の下落等の影響により、売上げは前年を下回りました。

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングのほか、受託加工、機器販売も好調に推移し、売上げは前年を上回りました。

メッシュクロス事業につきましては、スクリーン印刷用資材はやや低調となりましたが、自動車部品業界の復調を受けた化成品の伸長により、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は３０２億２１百万円（前年同期比１０７．８％）、営業利益は１８億７７百万円（前年同期比８４．１％）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

流動資産は１，９５９億１８百万円で、現金及び預金とたな卸資産の減少、有価証券の増加などにより、前年度末に比べ１７５億１２百万円減少しました。固定資産は２，２３６億２５百万円で、主に投資その他の資産が増加したことにより、前年度末に比べ５１億円増加しました。この結果、総資産は４，１９５億４４百万円で前年度末に比べ１２４億１２百万円減少しました。また、流動負債は７５１億７３百万円で、主に支払手形及び買掛金の減少により、前年度末に比べ１７１億１４百万円減少しました。固定負債は４０７億２９百万円で主に繰延税金負債の減少により、前年度末に比べ１億４０百万円減少しました。この結果、負債は合計１，１５９億２百万円で前年度末に比べ１７２億５４百万円減少しました。純資産は四半期純利益による増加と配当金の支出による減少、その他の包括利益累計額の減少などにより、前年度末に比べ４８億４２百万円増加し、３，０３６億４１百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

我が国経済は、政権交代によるデフレ脱却への期待はあるものの、依然として先行きは不透明であり、また、高値基調にある国際穀物相場など、当社グループを取り巻く状況は引き続き厳しいことが想定されます。このような状況におきましても、当社は安全・安心な製品を安定的に供給するとともに、トップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大に向けて中期経営計画で策定した諸施策に積極的に取り組んでまいります。

以上の結果、当年度の業績見通しにつきましては、当初の予想を据え置き、売上高は４，５９１億円（前期比１０３．９％）、営業利益は２３５億円（前期比１０１．７％）、経常利益は２６３億円（前期比１００．６％）、当期純利益は１４６億円（前期比１０９．６％）としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 （連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

Champion Flour Milling Ltd. は、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したため連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,020	34,543
受取手形及び売掛金	65,015	68,948
有価証券	16,141	26,726
たな卸資産	62,283	50,361
その他	11,164	15,548
貸倒引当金	△194	△209
流動資産合計	213,431	195,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,329	45,105
機械装置及び運搬具（純額）	28,816	28,821
土地	35,704	35,348
その他（純額）	5,519	6,607
有形固定資産合計	115,370	115,883
無形固定資産		
のれん	9,044	7,989
その他	3,754	3,808
無形固定資産合計	12,798	11,797
投資その他の資産		
投資有価証券	80,378	86,415
その他	10,138	9,679
貸倒引当金	△161	△150
投資その他の資産合計	90,355	95,944
固定資産合計	218,525	223,625
資産合計	431,956	419,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,003	37,097
短期借入金	5,813	4,575
未払法人税等	5,442	2,492
引当金	243	165
未払費用	15,692	13,089
その他	15,092	17,753
流動負債合計	92,287	75,173
固定負債		
長期借入金	2,117	3,071
引当金		
退職給付引当金	18,420	18,787
その他の引当金	1,823	1,704
引当金計	20,244	20,491
繰延税金負債	11,814	10,780
その他	6,693	6,385
固定負債合計	40,869	40,729
負債合計	133,157	115,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	9,453	9,456
利益剰余金	247,736	254,767
自己株式	△3,186	△3,194
株主資本合計	271,120	278,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,776	20,808
繰延ヘッジ損益	170	323
為替換算調整勘定	△2,677	△3,322
その他の包括利益累計額合計	20,269	17,810
新株予約権	188	220
少数株主持分	7,220	7,462
純資産合計	298,798	303,641
負債純資産合計	431,956	419,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	329,627	342,121
売上原価	227,218	236,826
売上総利益	102,408	105,295
販売費及び一般管理費	84,320	88,151
営業利益	18,088	17,143
営業外収益		
受取利息	154	143
受取配当金	1,351	1,422
持分法による投資利益	760	711
その他	643	600
営業外収益合計	2,909	2,878
営業外費用		
支払利息	64	108
為替差損	106	—
その他	69	107
営業外費用合計	240	215
経常利益	20,757	19,806
特別利益		
固定資産売却益	469	143
投資有価証券売却益	—	39
その他	—	11
特別利益合計	469	194
特別損失		
固定資産除却損	185	397
減損損失	462	—
退職給付制度改定損	1,238	—
その他	84	85
特別損失合計	1,970	482
税金等調整前四半期純利益	19,256	19,519
法人税等	7,755	6,987
少数株主損益調整前四半期純利益	11,501	12,531
少数株主利益	595	529
四半期純利益	10,905	12,002

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,501	12,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△331	△1,972
繰延ヘッジ損益	△93	80
為替換算調整勘定	△931	△565
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	97
その他の包括利益合計	△1,489	△2,360
四半期包括利益	10,012	10,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,752	9,543
少数株主に係る四半期包括利益	259	628

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間における剰余金の配当は、以下のとおりであります。なお、この他に該当事項はありません。

(配当金支払額)

平成24年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- | | |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 2,485百万円 |
| ② 1株当たり配当額 | 10円 |
| ③ 基準日 | 平成24年3月31日 |
| ④ 効力発生日 | 平成24年6月28日 |
| ⑤ 配当の原資 | 利益剰余金 |

平成24年10月30日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- | | |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 2,485百万円 |
| ② 1株当たり配当額 | 10円 |
| ③ 基準日 | 平成24年9月30日 |
| ④ 効力発生日 | 平成24年12月7日 |
| ⑤ 配当の原資 | 利益剰余金 |

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	129,548	172,057	301,605	28,021	329,627	—	329,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,283	361	14,645	2,836	17,482	△17,482	—
計	143,831	172,419	316,251	30,858	347,109	△17,482	329,627
セグメント利益	5,988	9,904	15,892	2,233	18,125	△37	18,088

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	製粉	食品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	134,836	177,063	311,900	30,221	342,121	—	342,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,541	371	13,912	3,054	16,966	△16,966	—
計	148,378	177,434	325,812	33,275	359,088	△16,966	342,121
セグメント利益	7,017	8,270	15,287	1,877	17,165	△21	17,143

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。